

県内の少年非行(令和3年1月末)

兵庫県警察本部少年課

注: 数値は、令和2年は確定値、令和3年は暫定値である。

1 県内の非行少年等の概況

令和3年1月末、県内で検挙・補導した非行少年(犯罪少年、触法少年及びびぐ犯少年の総称)は93人で前年同期(109人)に比べて16人(14.7%)減少している。

不良行為少年は712人で、前年同期(920人)に比べて208人(22.6%)減少している。

区分	年別	令和3年	令和2年	増減		
		1月末	1月末	人員	率(%)	
非 行 少 年	犯罪少年	59	67	-8	-11.9	
	触法少年	22	19	3	15.8	
	計	81	86	-5	-5.8	
	特別法 犯	犯罪少年	10	13	-3	-23.1
	触法少年	2	1	1	100.0	
	計	12	14	-2	-14.3	
	びぐ犯少年		9	-9	-100.0	
合計	93	109	-16	-14.7		
不良行為少年		712	920	-208	-22.6	

2 刑法犯少年包括罪種別の状況

区分	年別	令和3年1月末		令和2年1月末		増減	
		構成比(%)		構成比(%)		人員	率(%)
刑法犯少年		81	100	86	100	-5	-5.8
凶悪犯		3	3.7	5	5.8	-2	-40.0
粗暴犯		24	29.6	23	26.7	1	4.3
窃盗犯		38	46.9	39	45.3	-1	-2.6
知能犯				1	1.2	-1	-100.0
風俗犯		3	3.7	2	2.3	1	50.0
その他		13	16.0	16	18.6	-3	-18.8
うち占離		3	3.7	10	11.6	-7	-70.0

3 刑法犯少年学職別の状況

区分	年別	令和3年1月末		令和2年1月末		増減	
		構成比(%)		構成比(%)		人員	率(%)
総数		81	100	86	100	-5	-5.8
未就学							
小学生		16	19.8	9	10.5	7	77.8
中学生		21	25.9	27	31.4	-6	-22.2
高校生		26	32.1	33	38.4	-7	-21.2
その他学生		4	4.9	3	3.5	1	33.3
有職		9	11.1	13	15.1	-4	-30.8
無職		5	6.2	1	1.2	4	400.0

4 初発型非行の状況

区分	年別	令和3年1月末		令和2年1月末		増減	
		構成比(%)		構成比(%)		人員	率(%)
総数		36	100	40	100	-4	-10.0
万引き		15	41.7	20	50.0	-5	-25.0
オートバイ盗		10	27.8	1	2.5	9	900.0
自転車盗		8	22.2	9	22.5	-1	-11.1
占有離脱物横領		3	8.3	10	25.0	-7	-70.0
刑法犯少年に占める率(%)		44.4	—	46.5	—	-2.1	ポイント

※ 少年非行のその他の特徴

- 全刑法犯検挙・補導人員の11.5パーセント(前年同期比±0ポイント)を少年が占めている。
- 刑法犯少年のうち窃盗犯が最も多く、全体の46.9パーセントを占め、次いで粗暴犯の29.6パーセントとなっている。
- 不良行為少年では、喫煙(463人)と深夜はいかい(158人)が全体の87.2パーセントを占めている。